

2015 年

**登録ランドスケープアーキテクト(RLA)資格認定試験**

**登録ランドスケープアーキテクト補(RLA補)資格認定試験**

**1 次試験（その 2）問題用紙**

**注意事項**

- ① 本試験は、No. 1～No. 80 の 80 問で、解答時間は1時間 20 分(80 分)です。
- ② 問題は全問必須ですから、80 問すべて解答してください。なお、配点は1問1点で、80 点満点です。
- ③ 解答用紙(マークシート)に受験番号・氏名を記入し、受験番号欄は、該当番号もぬりつぶしてください。
- ④ 解答は、解答用紙(マークシート)に HB の鉛筆または芯が HB のシャープペンシルで記入してください。
- ⑤ 解答のぬりつぶし方は、解答用紙のぬりつぶし例を参照してください。
- ⑥ 当該問題番号の解答記入欄の正解と思う数字を1つぬりつぶしてください。  
なお、正解は1問につき1つしかありませんので、2つ以上ぬりつぶした場合は正解としません。
- ⑦ 解答を訂正する場合は、消しゴムできれいに消してから訂正してください。  
消し方が不十分な場合は、2つ以上解答したこととなり正解としません。
- ⑧ この問題用紙の余白は、計算等に使用してもさしつかえありません。  
ただし、解答用紙(マークシート)は、計算等に使用しないでください。
- ⑨ 試験終了後は、解答用紙(マークシート)を裏返して机の上に置いてください。係員が回収するまでそのままお待ちください。
- ⑩ この問題用紙は、試験終了時刻まで在席した方のうち、希望者に限り、持ち帰りを認めます。  
途中退席した場合は、持ち帰ることはできません。

No.1

学名「*Camellia japonica*」で表される植物の和名として、**適切なものを**下記より1つ選びなさい。

- ① カンツバキ
- ② サザンカ
- ③ シモクレン
- ④ ヤブツバキ

No.2

次に示す樹木の葉（イラスト）と樹種名の組合せについて、**適切でないものを**1つ選びなさい。

- ① イロハモミジ (*Acer palmatum*) ② トウカエデ (*Acer buergerianum*)



- ③ ハウチハカエデ (*Acer japonicum*) ④ イタヤカエデ (*Acer pictum*)



#### No.3

ソメイヨシノ (*Prunus × yedoensis*) に関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 江戸末期に染井村の植木屋によって売り出された
- ② エドヒガンとオオシマザクラの交雑種と考えられている
- ③ すべて同一の DNA を持つクーロン株である
- ④ 繁殖は実生によっておこなわれる

#### No.4

アカマツ (*Pinus densiflora*) と、クロマツ (*Pinus thunbergii*) に関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① アカマツは、北海道西南・本州・四国・九州の山地に広く分布する
- ② クロマツは、本州・四国・九州の海岸線を中心に分布する
- ③ クロマツの葉は、アカマツの葉より細くやわらかい
- ④ クロマツは「雄松」、アカマツは「雌松」とよばれる

#### No.5

根系が深根性の樹木として、**適切なもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① シラカシ (*Quercus myrsinifolia* )
- ② スギ (*Cryptomeria japonica* )
- ③ ブナ (*Fagus crenata* )
- ④ ミズキ (*Cornus controversa* )

No.6

夏に花を咲かせる樹木として、**適切でないもの**を下記より 1つ選びなさい。

- ① サルスベリ (*Lagerstroemia indica* )
- ② フヨウ (*Hibiscus mutabilis* )
- ③ ムクゲ (*Hibiscus syriacus* )
- ④ ハナズオウ (*Cercis chinensis* )

No.7

排気ガスに対する耐性が大きな樹木として、**適切なものの**を下記より 1つ選びなさい。

- ① アカマツ (*Pinus densiflora* )
- ② カイズカイブキ (*Juniperus chinensis* )
- ③ スギ (*Cryptomeria japonica* )
- ④ モミ (*Abies firma* )

No.8

公用緑化樹木の規格に関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1つ選びなさい。

- ① 樹高は、樹冠の頂端から根鉢の上端までの垂直高をいう
- ② 幹周は、根鉢の上端より 1.2m 上がりの位置を測定する
- ③ ウメなど根元付近から枝が分岐しやすいものは、根元部分の周長を測定する
- ④ 枝張とは、四方面に伸長した枝の幅の内、最短の幅をいう

No.9

植栽基盤に関する説明として、**適切でないもの**を下記より 1つ選びなさい。

- ① 設計に当っては、土壤の物理性・化学性について、土壤診断を行う
- ② 改良方法には、化学性を改良する土層改良と物理性を改良する土性改良とがある
- ③ 盛土工は、植物の有効土層を確保するため、植栽に適した盛土をすることである
- ④ 排水工は、過湿状態を防ぐために、土壤の通気性・通水性を良好にすることである

No.10

土壤改良材とその施用効果の組合せとして、**適切でないもの**を下記より 1つ選びなさい。

- ① 黒曜石パーライト … 通気性・透水性の改良
- ② 真珠岩パーライト … 保肥性の改良
- ③ バーク堆肥 … 保水性・透水性の改良
- ④ 石灰 … pHの調整

No.11

屋上緑化における植物の生育環境に関する対策として、**適切でないもの**を下記より 1つ選びなさい。

- ① 土壌厚の確保
- ② 支柱と風対策
- ③ 防水対策
- ④ 排水対策

No.12

つる植物とその登攀形式の組合せとして、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① ナツヅタ (*Parthenocissus tricuspidata*) … 吸盤のある巻きひげによる吸着
- ② キヅタ (*Hedera rhombea*) … 気根によって吸着登攀
- ③ オオイタビ (*Ficus pumila*) … つるを絡ませて登攀
- ④ ノウゼンカズラ (*Campsis grandiflora*) … つるによって絡む、また吸着根による吸着

No.13

本州で「冬の雑木林において、落葉せず茶色い葉がついたままの高木があった」この樹木として、**適切なものを**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① アカシデ (*Carpinus laxiflora*)
- ② エゴノキ (*Styrax japonica*)
- ③ クヌギ (*Quercus acutissima*)
- ④ コナラ (*Quercus serrata*)

No.14

日本庭園における寄植え植栽に関する記述として、**適切なものを**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 真木は、樹高が高く、樹幹、樹形も美しく樹冠の広がらない木がよい
- ② 添木は、真木とのつり合いを図るために異なる樹種の木がよい
- ③ 対木は、真・添木に対比させ正三角形を構成するように配植するのがよい
- ④ 見越しの木は、一般には常緑広葉樹で、枝葉の密生した枝張りのよい木がよい

No.15

花壇植栽に関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 花壇は、草丈、色彩、開花期等の材料特性を把握した上で設計する
- ② 花壇は、草花の生育に影響を及ぼす日光や風当たりを考慮して設計する
- ③ 毛せん花壇は、幾何学的模様に草丈の低い草花を植え込んだ立体的な花壇をいう
- ④ ロックガーデンは、岩石を使い自然の景の風情を再現した立体的な花壇をいう

No.16

本州における高木の移植に適した時期として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 針葉樹の移植を 2~4 月におこなう
- ② 常緑広葉樹の移植を 2~3 月におこなう
- ③ 落葉広葉樹の移植を 10~12 月におこなう
- ④ 落葉広葉樹の移植を 2~3 月におこなう

No.17

移植が容易な樹木として、**適切なものを**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① ジンチョウゲ (*Daphne odora* )
- ② ハマヒサカキ (*Eurya emarginata* )
- ③ チヤ (*Camellia sinensis* )
- ④ トベラ (*Pittosporum tobira* )

No.18

根回しに関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1つ選びなさい。

- ① 根回しとは、あらかじめ根を切断して細根の発生を抑制させる処置である
- ② 根回しは、樹木を安全に移植し活着させるために 1~2 年前に行う
- ③ 根回しの方法は、溝掘式と断根式がある
- ④ 根回しの時期は、根の発根が著しい春期が良好である

No.19

樹木の剪定対象枝に関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1つ選びなさい。

- ① からみ枝とは、1 本の枝がほかの主枝にからみついた枝をいう
- ② ふところ枝とは、樹枝の内部にある弱小枝をいう
- ③ 車枝とは、幹の同じ高さのところから各方向に伸び出した枝をいう
- ④ 徒長枝とは、樹木の衰弱が原因で幹から発生する小枝をいう

No.20

樹木の基本的な剪定技法に関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1つ選びなさい。

- ① 切詰め剪定とは、樹冠整正のために樹冠外に飛び出した枝を剪定することをいう
- ② 切返し剪定とは、樹高を抑えるために主幹を剪定することをいう
- ③ 枝抜き剪定とは、混みすぎた枝の中透かしを行うことをいう
- ④ 枝おろし剪定とは、不要な太枝を剪定することをいう

No.21

樹木の病気に関する記述として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① タンソ病は、葉や茎枝の表面が黒色すす状物で覆われる糸状菌病のひとつである
- ② 赤星病は、カイズカイブキが中間宿主となってナシ類に発症する
- ③ スス病は、褐色～灰色で組織が枯死したような病班を生じる斑点性病気のひとつである
- ④ ウドンコ病は、灰色、灰褐色などの菌糸の膜が覆い、こうやくを張ったような病班が生じる

No.22

樹木の害虫・症状・被害対象となる樹種の組合せとして、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- |              |                    |        |
|--------------|--------------------|--------|
| ① アブラムシ      | … 葉を食害する           | … サクラ  |
| ② マツノマダラカミキリ | … 幹・枝に穿孔する         | … マツ   |
| ③ カイガラムシ     | … 幹・枝・葉に寄生し樹液を吸収する | … ヒサカキ |
| ④ チャドクガ      | … 葉を食害する           | … サザンカ |

No.23

芝生（夏芝）の管理に関する記述として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 芝刈りは、ほふく茎生長を抑制し光線の透過や通気を良くさせる
- ② 夏季の灌水は、病菌繁殖を避けるため夕方に行わなければならない
- ③ 目土かけの土は、床土と同質のものを使用するのが良い
- ④ エアレーションは、サッチで生じた層を吹き飛ばすために行う

No.24

施肥の元素、役割、欠乏の症状の組合せとして、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① リン酸 ( $P_2O_5$ ) … 花芽分化を促進させる … 葉が暗緑色になる
- ② カルシウム (Ca) … 土の酸性を中和する … 若葉が巻き上がる
- ③ 窒素 (N) … 葉緑素をつくる … 葉が濃緑色になる
- ④ カリ ( $K_2O$ ) … 根や茎が丈夫になる … 幼葉が青緑になる

No.25

樹木支柱に関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 支柱は、風などによる振れや倒れを防止し、土壤と根を密着させて発根を促進させる
- ② ハツ掛支柱は、地上から 2/3～1/2 の高さに取付ける
- ③ 二脚鳥居組合せ型支柱は、二組の二脚鳥居を十字に組合せたものである
- ④ ワイヤー支柱は、ハツ掛支柱では樹高が高すぎる樹木の場合に取付ける

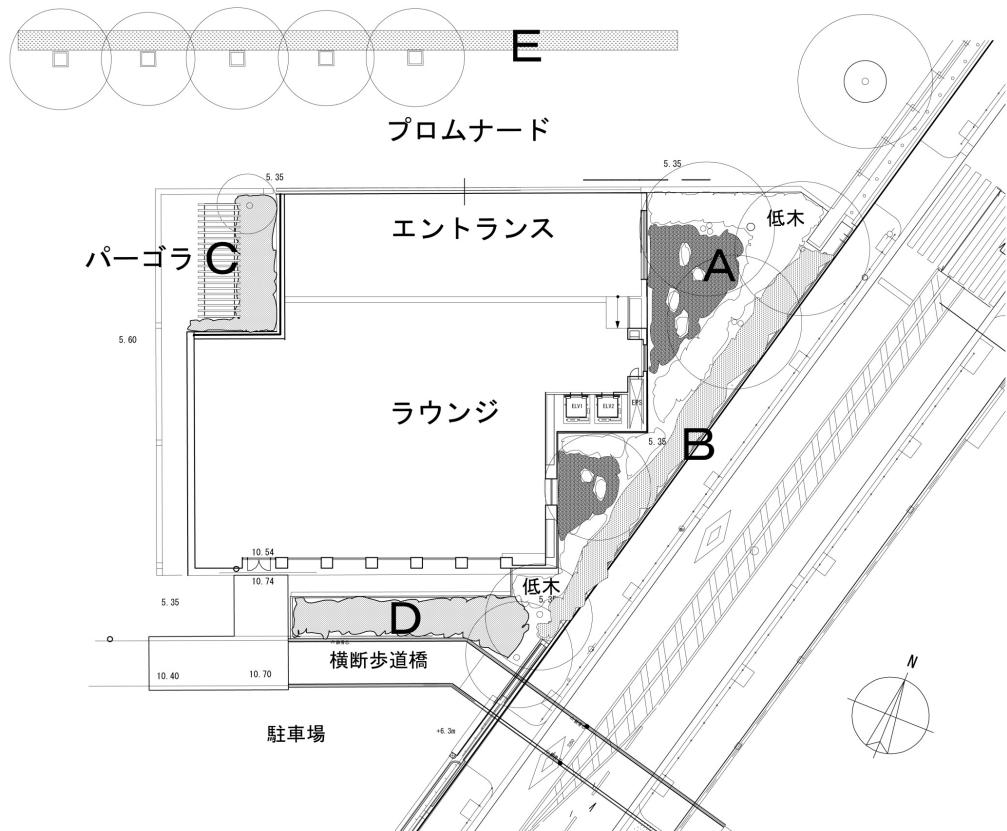
No.26

幹巻きに関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 高木を強く剪定する際に、幹からの蒸散作用を抑えるために行う
- ② 肌が薄く日焼けの害を起こしやすい樹木には、幹巻きを施した方が良い
- ③ 暖地産の樹木、大木・老木などには幹巻きは施さない方が良い
- ④ ワラやコモ、幹巻きテープなどで根元から樹幹長の 3/4 程度まで幹肌を覆う

No.27 (図は No.27~No.30 に適用)

下図に示す 1 階部分にラウンジのある 8 階建ての住宅建築の外構植栽計画について、以下の問題に答えなさい。(No.27~No.30 まで)



庭Aは、裸地に既存高木 (H=8m~10m) があるが、眺めて楽しむ庭として整備するため、グランドカバーと景石を合わせ敷きつめたい。植栽する植物の組合せとして、**適切でないものを**下記より 1 つ選びなさい。

- ① ツワブキ (*Farfugium Japonicum*) 、タマスダレ (*Zephyranthes candida*)
- ② サルココッカ (*Sarcococca cv.*) 、ビンカミノール (*Vinca minor*)
- ③ ヤブラン (*Liriope platyphylla*) 、クサソテツ (*Matteuccia struthiopteris*)
- ④ シバザクラ (*Phlox subulata cvs.*) 、クサボケ (*Chaenomeles japonica*)

No.28 (No.27 図参照)

プロムナード沿いEには冬に花が楽しめる植物を植えたい。この植物として**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① ハナニラ (*Tristagma uniflorum* )
- ② ニホンズイセン (*Narcissus tazetta Var.chinensis* )
- ③ ジャーマンアイリス (*Iris germanica* )
- ④ ヤマユリ (*Lilium auratum* )

No.29 (No.27 図参照)

庭Cにはパーゴラを設置し、つる植物を這わせ、人々の憩いの場としたい。夏は日陰を作り冬は日差しが入るつる植物として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① カロライナジャスミン (*Gelesemium sempervirens* )
- ② イタビカズラ (*Ficus oxyphylla miquel* )
- ③ ノウゼンカズラ (*Campsis grandiflora* )
- ④ トケイソウ (*Passiflora caerulea L.* )

No.30 (No.27 図参照)

図中Bの列状の寄植えには歩道や道路からも花が楽しめ、図中Dにはラウンジから駐車場への視線を遮ぎるようにしたい。BとDに植栽する樹種の組合せとして、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

「B」

「D」

- ① ドウダンツツジ (*Enkianthus perulatus*.)、ヒイラギモクセイ (*Osmanthus fortune* )
- ② ジンチョウゲ (*Daphne odora*)、マサキ (*Euonymus japonicus*)
- ③ トキワマンサク (*Loropetalum chinense*)、マユミ (*Euonymus sieboldianus*)
- ④ サザンカ (*Camellia sasanqua*)、カイズカイブキ (*Juniperus chinensis'Kaizuka*)

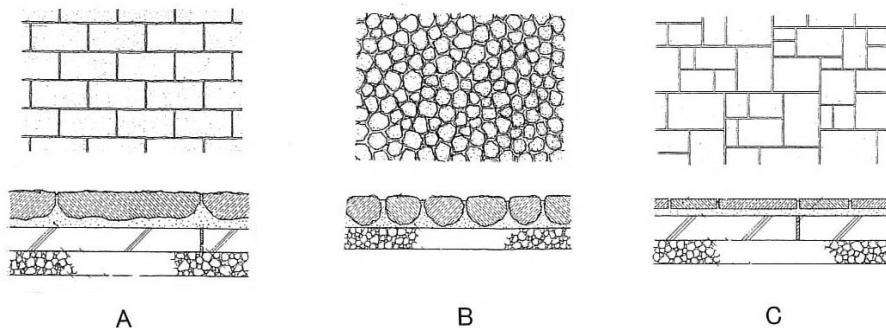
No.31

ジョギングコースの基本的な計画条件として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① コースの設定は周囲の見通しを確保し、接触などによる事故の発生を防ぐようとする
- ② コースは出来るだけ平坦とするが、多少のアップダウンは単調さを和らげ変化のあるものとする
- ③ コースはその性格上、利用時間が限定され、夜間利用は考えられないため、照明は起終点のみとする
- ④ コース中に走行距離や時間の確認・目安となる時計、標識等を設置する

No.32

石材系舗装の平面図・断面図A～Cと、その名称の組み合わせとして、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。



出典：「造園工事総合示方書」(公社日本造園学会編著)

- ① A：割板石張舗装 B：ごろた石張舗装 C：平石張舗装
- ② A：平石張舗装 B：小舗石舗装 C：割板石張舗装
- ③ A：平石張舗装 B：ごろた石張舗装 C：割板石張舗装
- ④ A：割板石張舗装 B：小舗石舗装 C：平石張舗装

No.33

地面の勾配と屋外施設に関する記述として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 5%程度の緩やかな敷地にゲートボール場を計画する
- ② 10%の傾斜地に草そりのできる広場を計画する
- ③ 20%の傾斜地に風景を眺める休憩広場を計画する
- ④ 50%の傾斜地に屋外コンサート場の芝生スタンドを計画する

No.34

「都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン」に基づくスロープ（傾斜路）に関する記述として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 有効幅は100cm以上、ただし階段併設の場合は90cmでもよい
- ② 縦断勾配は10%以下とし、横断勾配は1%以下とする
- ③ 原則として両側に立ち上がり部または手すりのいずれかを設ける
- ④ 高さ75cm以内ごとに踏幅150cm以上の水平部分を設ける

No.35

「都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン」に基づき設置する幅1.2m、高低差3.6mの屋外階段の設計に関する記述として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 途中に水平部分90cmの踊り場を設けた
- ② 2段式の手すりを設け、その高さを、上段85cm、下段65cmとした
- ③ 段数の合計を18段とした
- ④ 視認性を高めるため段鼻を蹴込み面より3cm突き出した

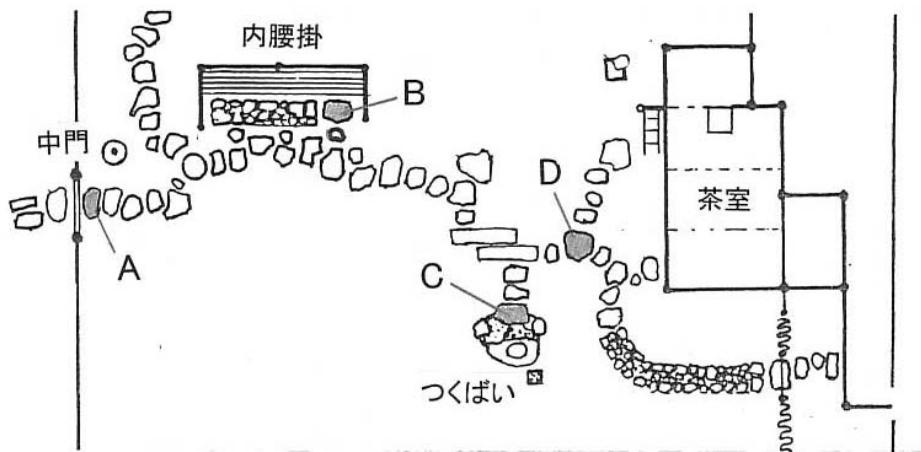
No.36

池・流れの護岸や防水に関する記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 「しがらみ」とは、細枝や割竹で組んだ籠に石を詰めて水辺の土留としたものである
- ② ベントナイト系防水は、粘土鉱物を用いたもので、膨潤作用による自己修復性がある
- ③ 「洲浜」とは、砂浜の景を模した護岸で、玉石、砂利等を緩勾配で張り付けたものである
- ④ セメント系防水は、地盤沈下のおそれがある場所には適さない

No.37

下図は茶庭の模式図である。図中の役石A～Dの名称の組合せとして、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

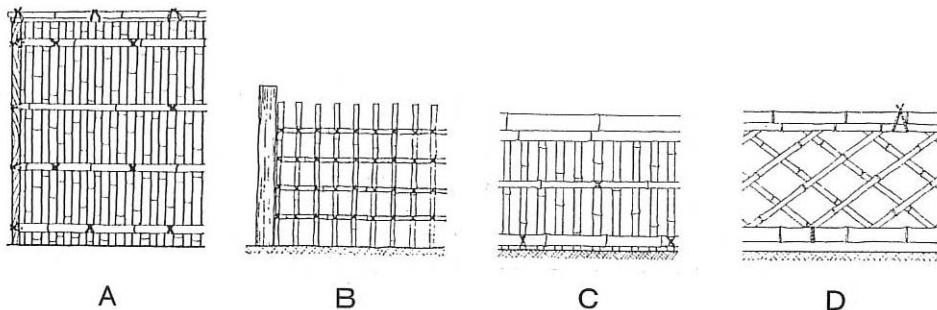


出典：「造園用語辞典」（第三版）

- ① A：亭主石 B：客石 C：乗越石 D：前石
- ② A：乗越石 B：貴人石 C：前石 D：踏分石
- ③ A：乗越石 B：前石 C：踏分石 D：亭主石
- ④ A：亭主石 B：客石 C：前石 D：踏分石

### No.38

竹垣の名称の組合せとして、**適切なもの**を下記より 1つ選びなさい。



出典：「建築大辞典」

- |            |          |          |          |
|------------|----------|----------|----------|
| ① A : 建仁寺垣 | B : 四つ目垣 | C : 銀閣寺垣 | D : 金閣寺垣 |
| ② A : 金閣寺垣 | B : 銀閣寺垣 | C : 四つ目垣 | D : 竜安寺垣 |
| ③ A : 建仁寺垣 | B : 四つ目垣 | C : 銀閣寺垣 | D : 竜安寺垣 |
| ④ A : 銀閣寺垣 | B : 竜安寺垣 | C : 建仁寺垣 | D : 金閣寺垣 |

### No.39

「都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン」に基づくベンチに関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1つ選びなさい。

- ① ベンチの幅は 1 人用で 45cm 程度、2 人用では 120cm 程度を標準とする
- ② ベンチの脇には平坦なスペースを設ける
- ③ 背もたれを付ける場合、座面との角度は 110° 程度とする
- ④ 高齢者を考慮して、座面高さは 30cm 程度を標準とする

### No.40

「都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン」に基づく休養施設に関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1つ選びなさい。

- ① 四阿への出入口幅を 150cm とした
- ② 野外卓のテーブル下の有効高さを 55cm とした
- ③ 園路脇のベンチに隣接して平坦なスペースを設けた
- ④ 四阿内での車イス旋回を考慮して 150cm×150cm の平場を設けた

No.41

遊具の安全確保について、枠内に示す文章の(A)～(D)にあてはまる語句として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

公園管理者は、(A)を適切に(B)するとともに、生命に危機があるか重度あるいは恒久的な障害をもたらす事故につながるおそれのある物的(C)を中心に(D)し、子ども・保護者等との連携により人的(C)の(D)に努める。

- ① A : ハザード B : 除去 C : リスク D : 管理
- ② A : ハザード B : 管理 C : リスク D : 除去
- ③ A : リスク B : 除去 C : ハザード D : 管理
- ④ A : リスク B : 管理 C : ハザード D : 除去

No.42

遊戯施設の安全性に関する記述として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 落下高さ60cmの遊具の安全領域の最小値は1.5mである
- ② 安全領域とは落下の際の衝撃を和らげる範囲である
- ③ 昇り降りする小学生用遊具は階段の1段目を低くする
- ④ 遊具の部品や部材は事故を想定して、簡単にはずせる構造とする

No.43

運動施設に関する記述として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① サッカーフィールドの長軸方向を南北方向にするのがよい
- ② 陸上競技場のトラック・フィールドの長軸方向は、東西または東北東から西南西方向にするのがよい
- ③ テニスコートは太陽光線を配慮し、東西方向にコートの長軸を取るのがよい
- ④ 野球場の方位は、競技者を主体とする場合は本塁を南側に配置する

No.44

運動施設の舗装に関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 芝生舗装は踏圧、通気性、排水性を考慮する
- ② 樹脂系舗装は、天候にほとんど影響されず競技を行うことができる
- ③ アンツーカ舗装は、含水比が高くなると軟弱になりやすい
- ④ クレイ舗装は水はけがよく、降雨後の乾燥が比較的早い

No.45

都市公園法における教養施設に関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① レクリエーション活動の中でもっとも情操面の教育に資する施設である
- ② 城址や記念碑、遺跡は教養施設に含まれない
- ③ 学術研究や社会教育、レクリエーション利用などの機能を有する
- ④ 動物園や植物園、自然生態園は教養施設に含まれる

No.46

都市公園のトイレに関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 便器や床面は汚されやすいので、清掃しやすい材料を選定する
- ② 全てのトイレに多機能便房を設置することが望ましい
- ③ トイレは近隣住民および景観に配慮し、視認性が低い場所に設置する
- ④ バリアフリー法を考慮して設置することがもとめられる

No.47

「都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン」に基づく車いす使用者用駐車施設に関する記述として、**適切でないものを下記より1つ選びなさい。**

- ① 駐車場の規模が100台の時は2台分、300台の時は5台分のスペースを確保する
- ② 車いす使用者優先の旨を床面に国際シンボルマークで表示する
- ③ 表面は滑りにくく平坦な仕上げとし、通路との間の段差は2cm以内とする
- ④ バリアフリーの園路に最も近い位置が望ましい

No.48

「都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン」に基づく水飲みに関する記述として、**適切でないものを下記より1つ選びなさい。**

- ① 車いす使用者が近づけるよう下部に高さ65cm以上、奥行き45cm以上のスペースを確保する
- ② 給水栓はレバー式、押しボタン式等の使いやすいものが望ましい
- ③ 床面は段差が無くし、水はけを良くするために勾配を設ける
- ④ 幼児の利用のために、車いす使用者の支障のないところに踏み台を設ける

No.49

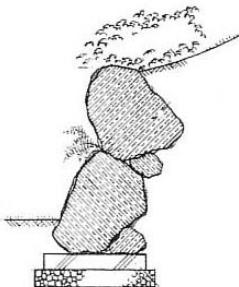
掲示板・標識に関する記述として、**適切でないものを下記より1つ選びなさい。**

- ① 平仮名やピクトグラム、ローマ字などを併用して、認識しやすいよう配慮した
- ② 主要な出入口や園路の分岐点等に、通行の支障にならないように配置した
- ③ 車いす使用者が掲示板に接近できるよう、1.5m×1.5m以上の水平スペースを設けた
- ④ 標識が園路上に突き出るので、標識の下端を地上1.5mの高さに設置した

No.50

下記の石積み断面図の名称として、**適切なもの**を下記より 1つ選びなさい。

- ① 崩れ積み
- ② 玉石積み
- ③ 間知石積み
- ④ 雜割石積み



出典：「造園工事総合示方書」

No.51

石積み工法に関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1つ選びなさい。

- ① 石積みの施工は、位置出し・床掘・基礎・石積みの手順で行う
- ② 空積みは裏込めに割栗石や砂利などをかませ、自然風に積み上げる
- ③ 野面積みは産地から採取した石材を、大小まちまちに積み上げる
- ④ 練積みは裏込めにコンクリートを使い、美観を考慮し水抜きパイプは設けない

No.52

転落防止柵及び防護柵の記述として、**適切なもの**を下記より 1つ選びなさい。

- ① 人が転落する恐れのあるところに高さ 1.1mの転落防止柵を設けた
- ② 転落防止柵の桟は横方向とし、隙間の幅は 110mm 以下とする
- ③ 防護柵の路面からの高さは 0.8m以上 1.1m以下とする
- ④ 公園の転落防止柵は、防護柵と同等の強度を持たせなければならない

No.53

給水設備の計画に関する記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① ループ型の給水系統は、水圧を一定に保ちやすく、大規模面積公園での設置に向いている
- ② 樹枝型の給水系統は、末端になると水圧が低下しやすく、停滯水が生じやすい
- ③ 直結直圧式給水は、配水管の動水圧により給水するため、高位置まで安定して給水することができる
- ④ 受水槽式給水は、一度に多量の水の使用が可能であり、断水時や災害時にも水が確保できる

No.54

照明設計に関する記述として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 住宅地と隣接する境界沿いは安全性を優先して主園路と同等の明るさが必要である
- ② LED照明は高輝度で長寿命であり、かつ誘虫性が低い
- ③ 光源容量が同じであればポールの高さを変えても配置間隔への影響はない
- ④ 公園内の主要園路は、公園入口部より照度レベルを高くする

No.55

石材に関する記述として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 御影石は安山岩の一種であり、白、桜、鑄などの色がある
- ② 鉄平石は磨くと美しい光沢がでるため、建築内装材に用いられる
- ③ 大理石は日本で多く産出され、特に耐火性に優れる
- ④ 大谷石は加工が容易で耐火性に優れている

No.56

石材の形状と寸法に関する記述として、**適切なものを**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 角石とは、幅が厚さの 3 倍以上で、ある規格の長さをもつもの
- ② 板石とは、厚さが 15 cm 未満で、かつ幅が厚さの 3 倍以上のもの
- ③ 間知石とは、面が方形に近く、控えは二方落し、面に直角に測った控えの長さは、面の最小辺の 1.2 倍以上あるもの
- ④ 割石とは、面が方形に近く、控えは四方落し、面に直角に測った控えの長さは、面の最小辺の 1.5 倍以上あるもの

No.57

石材の表面仕上げと加工方法に関する記述として、**適切でないものを**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 風雨にさらされた自然のままの表面状態や節理、割れ目で自然に剥離したものを「野面」という
- ② ノミ切り程度の表面を切子目のあるハンマーで叩いて、さらに平滑にすることを「ビシャン仕上」という
- ③ 砂を圧縮空気とともに吹付け、表面を荒らしたり、一部を被って艶消しの模様をつける仕上げを「バーナー仕上」という
- ④ 平滑に仕上げた石材に研磨剤とグラインダーなどで磨き、艶の出る手前の状態を「水磨き」という

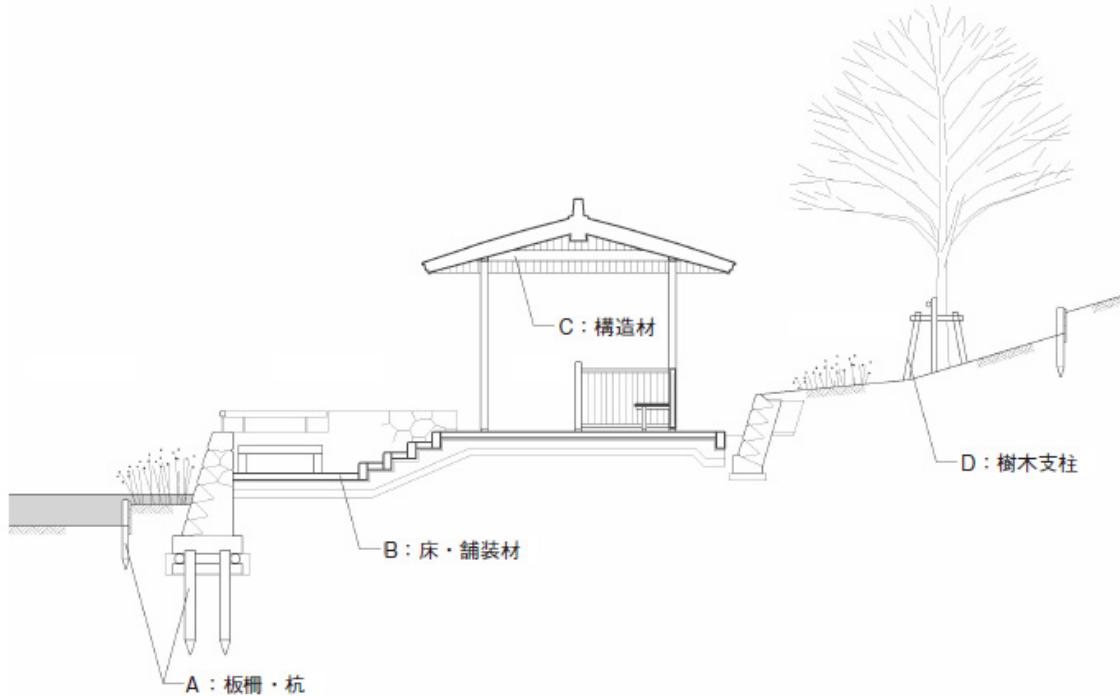
No.58

木材において気乾比重の重い順番として、**適切なものを**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① イペ > ケヤキ > レッドウッド > スギ
- ② ケヤキ > イペ > スギ > レッドウッド
- ③ イペ > レッドウッド > ケヤキ > スギ
- ④ スギ > ケヤキ > イペ > レッドウッド

No.59

下図における木材の使用について、特性および経済性を勘案した組合せとして、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。



- |   |         |        |         |         |
|---|---------|--------|---------|---------|
| ① | A : ヒノキ | B : クリ | C : スギ  | D : マツ  |
| ② | A : マツ  | B : スギ | C : クリ  | D : ヒノキ |
| ③ | A : クリ  | B : スギ | C : ヒノキ | D : マツ  |
| ④ | A : マツ  | B : クリ | C : ヒノキ | D : スギ  |

No.60

コンクリートに関する記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 圧縮強度が小さく、部材や構造物にひび割れが生じやすい
- ② 任意の強度を得られるが、その強度に達するまでに時間がかかる
- ③ 耐久力や火災に対する抵抗力が大きい
- ④ コンクリートの構成材料のうち、粗骨材を欠くものをモルタルという

No.61

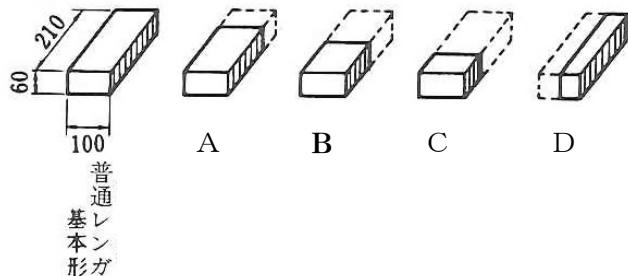
コンクリート二次製品に関する記述として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 大量の製品が工場で製造されるので、同じ製品でも品質にはらつきがある
- ② 強度に達するまで現場での養生期間が必要となり、早期の使用は難しい
- ③ J I Sによって製品が標準化されているので、指定製造工場が少なく入手しにくい
- ④ 現場で型枠や支保工の準備がいらず、作業の効率化が図れる

No.62

下図に示すレンガの形と名称のうち、Bで示したもののが名称として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① ようかん
- ② 半ます
- ③ 七五
- ④ 二五



出典：「造園ハンドブック」

No.63

伝統的河川工法に関する記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 霧堤は洪水時に、水を堤内に設けた遊水地に導く構造となっている
- ② 柳枝工は石と粗朶で法面を覆い、柳が繁茂することで強固になる
- ③ 木工沈床は通常、水面上に出るように設置し、洪水時には水面下に没し制水する
- ④ 聖牛は木材を三角錐状に組み、蛇籠で河床に固定したものである

No.64

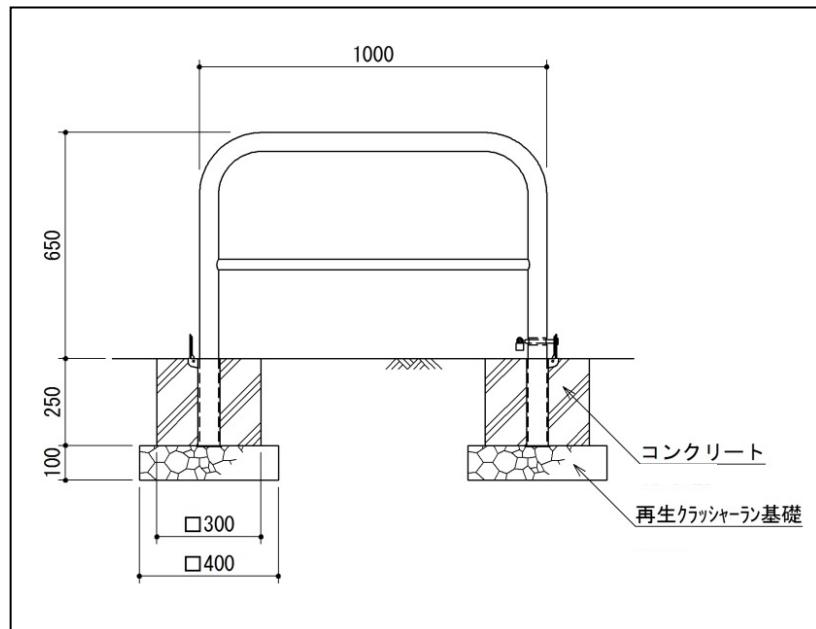
防災公園の設計に関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 公園入口の舗装は、耐久性があり応急的な修復が容易なものとする
- ② 公園外周部は、フェンス等で囲い、防火対策のため低木植えつぶしとする
- ③ 避難広場の一人当たりの避難面積は出来るだけ  $2\text{ m}^2$  以上とし、公園規模等を勘案して設定する
- ④ ヘリポートは堅固な地盤とし、植栽や建築物の位置関係に留意する

No.65

下図の車止めを設置するために必要な型枠の数量として、**適切なもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ①  $0.30\text{ m}^2$
- ②  $0.60\text{ m}^2$
- ③  $0.78\text{ m}^2$
- ④  $0.80\text{ m}^2$



No.66

土の粒径区分の小さい順番として、**適切なもの**を下記より 1 つ選びなさい。

A : 磯      B : 粘土      C : 砂      D : シルト

- ① B < D < A < C
- ② B < C < D < A
- ③ D < B < C < A
- ④ B < D < C < A

No.67

地盤の支持力試験として、**適切でないもの**を下記より 1つ選びなさい。

- ① 標準貫入試験
- ② スウェーデン式サウンディング試験
- ③ 長谷川式貫入試験
- ④ 平板載荷試験

No.68

植栽地の生育最小土層厚に関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1つ選びなさい。  
ただし、灌水装置はないものとする。

- ① 地被を植栽する場合は 15 cm である
- ② 小低木を植栽する場合は 45 cm である
- ③ 大低木を植栽する場合は 60 cm である
- ④ 高木（浅根性）を植栽する場合は 90 cm である

No.69

土壤の透水性向上を目的とした土壤改良材として、**適切でないもの**を下記より 1つ選びなさい。

- ① 木炭
- ② バーミキュライト
- ③ ベントナイト
- ④ けいそう土焼成粒

### No.70

砂質土の造成におけるのり面勾配 ( $H = 5\text{m}$  以下) として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 1 : 0.5 (切土法面)
- ② 1 : 1.0 (切土法面)
- ③ 1 : 1.5 (盛土法面)
- ④ 1 : 1.8 (盛土法面)

### No.71

500  $\text{m}^3$  の盛土を行う場合、現場内の切土 100  $\text{m}^3$  を流用するときの不足土量として、**適切なもの**を下記より 1 つ選びなさい。

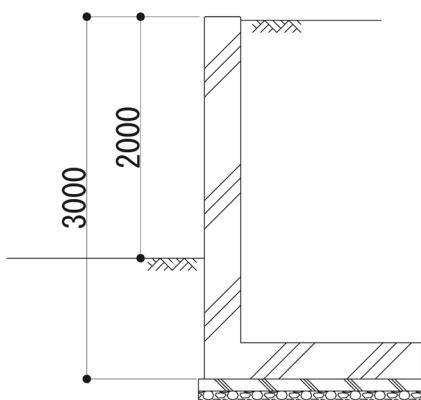
ただし、全て地山土量とし、土量変化率は  $L$  (ほぐした土量／地山土量) = 1.2、 $C$  (締固めた土量／地山土量) = 0.9、小数点以下は切捨てとする。

- ① 435  $\text{m}^3$
- ② 444  $\text{m}^3$
- ③ 455  $\text{m}^3$
- ④ 480  $\text{m}^3$

### No.72

下図に示した擁壁の水抜き穴について、その必要最小箇所数として、**適切なもの**を下記より 1 つ選びなさい。ただし、擁壁の延長は 10  $\text{m}$  とする。

- ① 1 ケ所
- ② 3 ケ所
- ③ 5 ケ所
- ④ 7 ケ所



No.73

雨水排水計画の手順として、**適切なもの**を下記より 1つ選びなさい。

- ① 管径の決定 → 雨水排出量の算定 → 排水勾配の決定 → 管基礎の設計
- ② 排水対象区域の設定 → 雨水流出量の算定 → 排水施設の決定 → 管渠の設計
- ③ 排水施設の設計 → 流速や勾配の設定 → 管種の決定 → 雨水流出量の算定
- ④ 雨水流出量の算定 → 排水対象区域の設定 → 人孔の設計 → 管渠の設計

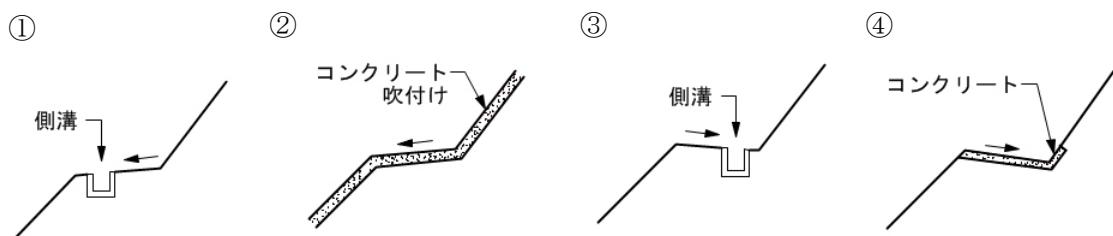
No.74

雨水流出量を算定する合理式に必要な項目として、**適切でないもの**を下記より 1つ選びなさい。

- ① 排水面積
- ② 浸透係数
- ③ 降雨強度
- ④ 流出係数

No.75

切土高が 5 mを超える造成のり面に設置する小段の断面として、**適切でないもの**を下記より 1つ選びなさい。



No.76

管渠の設計における雨水管の流速及び勾配に関する記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 雨水管の勾配は地表面の勾配に応じて定めると経済的である
- ② 下流に向かうに従い、流速が早くなるようにする
- ③ 流速は最少 0.8 m/sec を原則とする
- ④ 下流に向うに従い流速を早めるため、管径は変えずに勾配を急にする

No.77

管径 150 mm の雨水管を 200 m 直線状に設置する場合、始点と終点の枠を含めて、必要となる枠の数として、**適切なもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 3ヶ所
- ② 7ヶ所
- ③ 10ヶ所
- ④ 13ヶ所

No.78

雨水流出抑制に効果があるものの数として、**適切なもの**を下記より 1 つ選びなさい。

A : 調整池      B : 透水性舗装      C : 植栽地      D : 浸透側溝

- ① 1つ
- ② 2つ
- ③ 3つ
- ④ 4つ

No.79

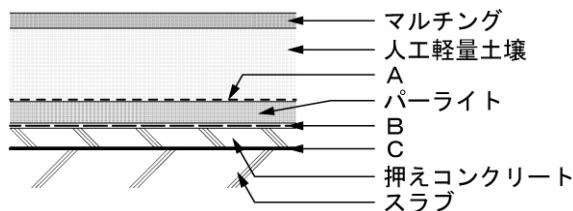
枠内に示す文章の(A)～(D)にあてはまる語句として、**適切なものを**下記より 1つ選びなさい。

(A)などにより、雨が降った場所で雨水を貯留することを(B)といい、雨水を集めし、(C)などで貯留することを(D)という。

- ① A : 調整池      B : オフサイト貯留      C : 透水性舗装      D : オンサイト貯留
- ② A : 調整池      B : オンサイト貯留      C : 浸透樹      D : オフサイト貯留
- ③ A : 透水性舗装      B : オフサイト貯留      C : 調整池      D : オンサイト貯留
- ④ A : 浸透樹      B : オンサイト貯留      C : 調整池      D : オフサイト貯留

No.80

下図に示す人工軽量土壤を用いた屋上緑化の標準断面図において、(A)～(C)の使用資材の組合せとして、**適切なものを**下記より 1つ選びなさい。



- ① A : 透水シート      B : 防根シート      C : 防水シート
- ② A : 防根シート      B : 透水シート      C : 防水シート
- ③ A : 透水シート      B : 防水シート      C : 防根シート
- ④ A : 防水シート      B : 防根シート      C : 透水シート